

第13回 運転管理検討会 議事録

1. 開催日時：平成19年1月23日(火) 14:30～16:30
2. 開催場所：日本電気協会 4D会議室
3. 参加者 (順不同, 敬称略)
 - 委員：濱名・田中(東京電力), 坂元(関西電力), 尾形(北海道電力), 名原(中国電力), 佐野(日本原電), 市川(電源開発), 浦野(日本原子力技術協会), 鎌田(四国電力), 布谷(北陸電力), 井川(中部電力) (計11名)
 - 代理出席者：佐久間(東北電力・飯塚), 水口(九州電力・藤井) (計2名)
 - 欠席：多田(北海道電力) (計1名)
 - オブザーバ：後藤(原子力安全・保安院) (計1名)
 - 事務局：大東(日本電気協会) (計1名)
4. 配付資料
 - 資料13-1 運転管理検討会委員名簿
 - 資料13-2 第12回運転管理検討会 議事録(案)
 - 資料13-3 JEAG4801「原子力発電所の運転マニュアル作成指針」廃止提案に関する書面投票の結果について
 - 資料13-4 「原子力発電所運転責任者の判定に係る規程」に対する要望意見への回答(案)
 - 資料13-5 原子力発電所運転責任者の判定に係る規程(案)
 - 資料13-6 「「原子力発電所運転責任者の判定に係る規程」へのコメント」についての検討結果(案)
 - 資料13-7 「原子力発電所運転責任者の判定に係る規程」に対する意見(後藤委員)
 - 参考資料1 第22回原子力規格委員会議事録(案)
5. 議事
 - (1) 会議定足数の確認について
 - 委員総数14名に対して本日の出席委員数は, 代理委員も含めて13名で検討会決議に必要な委員総数の2/3以上の出席が確認された。
 - (2) 代理参加者及びオブザーバ参加者の承認について
 - 上記, 代理出席者2名およびオブザーバ1名の会議参加並びにオブザーバからの意見陳述について, 検討会主査から承認された。
 - (3) 前回議事録(案)の承認
 - 事務局より, 資料13-2に基づき, 前回の検討会議事録(案)が紹介され, 承認された。
 - (4) JEAG4801 原子力発電所の運転マニュアル作成指針」廃止提案に関する書面投票の結果について

事務局より、資料 13-3 に基づき、「JEAG4801 原子力発電所の運転マニュアル作成指針」廃止提案に関する書面投票の結果について説明が行われ、原子力規格委員会の委員全員の賛成より可決となったことが報告された。

(5) 外部からの意見への回答案の審議

事務局より、資料 13-4 に基づき、原子力発電所運転責任者の判定に係る規程への外部からの意見を紹介した。本意見に対して、田中委員から回答案の説明があり、審議の結果、承認された。今後の対応としては、次回の運転・保守分科会に検討会にて作成した回答案を諮ることとする。

(6) 原子力発電所運転責任者の判定に係る規程 制定案の検討

田中委員より、資料 13-5 に基づき、前回検討会までに寄せられたコメントを反映した原子力発電所運転責任者の判定に係る規程制定案の説明が行われ審議した。

前回からの主な変更点は、以下のとおり。

- 1) 附属書の記載方法は、JISZ8301 にあわせて修正を行なった。

(7) 運転責任者の判定に係る規程(案)に対する意見への対応案の検討

田中委員より、資料 13-6,7 に基づき、運転責任者の判定に係る規程(案)に対する意見への対応案の説明があった。

主なコメントは以下のとおり。

- 1) 規程案に対する運転・保守分科会後藤委員からの意見については、規程案のみならず、告示の廃止を前提に技術評価を視野に入れつつ、現行制度の評価結果や判定期間の組織体制等について、運転管理検討会にて検討を行い、補足資料として整理する必要がある。
- 2) 今後、規制側が技術評価する際に必要と思われるバックデータを盛り込んだ資料を作成し、原子力発電所の判定に係る規程(案)の上位委員会説明時の補足資料とする。
- 3) 補足資料には、次のような項目をまとめることとする。
 - ・現在の判定制度の評価について
具体的には、判定にかかわる業務経験等について、判定にかかわる知識及び技能の確認について、判定にかかわる組織並びに体制についてなど。
 - ・判定規程(JEAC4804)に基づく判定制度について
 - ・海外の運転責任者資格制度等について
- 4) 補足資料の中に、経験について言及すること。

現在の運用を整理して、その結果を告示や現状の電力の規程と比較してどうかというまとめかたとする。
- 5) 合格者数や合格率の推移から、合格率に変わりがなくレベルが落ちていないことを示せないか。

数値は出せると思う。試験の妥当性は、要員に対する要求レベルに対して、どのような試験の内容とするかを具体的に記載して整理していくこととなる。
- 6) 告示をなくすのであれば、告示にある地位の条件を外せないか。

7)技術評価で、原技協は大丈夫かという議論になるのか。規格策定の場で、原技協の評価をするべきではないと思う。

規格ができて受け皿がなければ制度として成り立たなくなる。ある程度は受け皿の議論をしなければならないと考える。

8)海外との比較は、この項目を筆記でやっているところもあるとか、それなりの相場観で比較されていけばよいと思う。

9)3月に開催が予定されている運転・保守分科会に諮ることを目標に作業を進めていきたい。

(8)その他

1)委員名簿の変更

事務局より、資料13-1に基づき、委員名簿の変更の紹介があった。本件は、次回の運転・保守分科会にて承認されれば成立となる。

委員名簿の変更箇所は、次の通り。

多田 宏之(北海道電力) (退任)

2)今後のスケジュール

1月26日(金) 第10回運転・保守分科会

2月5日(月) 第23回原子力規格委員会

3月中旬 第11回運転・保守分科会

3)次回運転管理検討会は、2月16日(金)開催予定とした。

以上